

令和2年第1回教育委員会臨時会会議録

■会議名 令和2年第1回教育委員会臨時会

■日時 令和2年7月29日(水) 午前9時30分から午前11時30分

■場所 忠岡町役場 3階 研修室1・2

■出席者 教育委員会委員

教育長	富本	正昭
教育長職務代理人	中村	吉治
委員	安明	明子
委員	井手	和代
委員	新田	哲也
委員	谷野	しづこ

事務局

教育部長	二重	幸生
教育部理事兼学校教育課長	石本	秀樹
教育部生涯学習課長	小林	和子
教育部教育みらい課長	石栗	健史
教育部学校教育課参事	三好	泰隆
教育部学校教育課参事	大西	裕貴
教育部教育みらい課参事	根来	智子
教育部教育みらい課参事	道口	康子

■傍聴者数 14名

■会議録署名委員 谷野委員

■議事日程

日程第1・議案第16号「令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」

日程第2・議案第17号「令和3年度使用小学校教科用図書の採択について」

その他

■会議の内容

発言者	発言の要旨
富本教育長	<p>ただ今から令和2年第1回忠岡町教育委員会臨時会を開催致します。</p> <p style="text-align: center;">（ 開会 午前9時30分 ）</p>
富本教育長	<p>本日の応召委員は5名で、出席委員は同数であります。従いまして委員会は成立しております。次に議事に入ります前に、本日傍聴の申し出がございます。傍聴を許可することとしてよろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「異議なし」の声 ）</p>
富本教育長	<p>ご異議がないので、傍聴者の入室を許可することといたします。</p> <p style="text-align: center;">（ 傍聴者14名入室 ）</p>
富本教育長	<p>本日の会議録署名委員を会議規則第16条の規定により、教育長の指名として、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「異議なし」の声 ）</p>
富本教育長	<p>ご異議がないので、谷野委員にお願いいたします。次に、教育長の報告をさせていただきます。本日は、「令和3年度使用中学校教科用図書」の10教科16種目の採択をいただく臨時の教育委員会会議でございます。委員皆様方におかれましては、本町の子ども達にとって、より良い教科書の採択となるよう、慎重にご審議のほど、お願いいたします。それでは議事に入ります。議事日程を事務局より朗読願います。</p>
石栗課長	<p style="text-align: center;">（ 議事日程朗読 ）</p>
富本教育長	<p>日程第1・議案第16号「令和3年度使用中学校教科用図書の採択について」を議題と致します。事務局より議案の朗読を願います。</p>

石栗課長	(議案朗読)
富本教育長	会議規則第9条の規定により趣旨説明を求めます。
石本理事	<p>只今より趣旨説明を行います。本日、ご審議いただく内容は、令和3年度に中学校で使用いたします教科用図書の採択について、でございます。</p> <p>本来であれば、昨年度が中学校の教科書の採択替えの年でしたが、検定教科書が出されなかったために、平成28年度より使用している教科書を引き続き使用しております。この度は、今年度の小学校に引き続き、来年度から中学校でも新学習指導要領が実施されることに伴い、法令に基づき、中学校使用教科用図書の採択を行います。なお、今回採択した教科書については、原則として4年間同じものを使用することとなっております。</p> <p>採択事務に係り、10教科16種目において、検定を通過した教科書について、忠岡町教育委員会から忠岡町立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に諮問をし、それを受けて、同選定委員会から2市1町教科用図書選定資料作成委員会に諮問を行い、調査員が調査・研究を実施し、報告をまとめていただきました。</p> <p>去る7月2日に2市1町教科用図書選定資料作成委員会から忠岡町立義務教育諸学校教科用図書選定委員会に調査結果の具申があり、それをふまえ、忠岡町立義務教育諸学校教科用図書選定委員会を開催しました。</p> <p>選定委員会では、『忠岡町の子どもたちにとって、どのような教科書が望ましい教科書であるか』を念頭に、答申を作成し、内容については、事前に委員の皆様にお示ししております。</p> <p>また、令和2年5月29日から7月1日までの期間、泉北郡教科書センター及び町立図書館において開設いたしました令和3年度使用教科書展示会で御記入いただいた御意見や御感想につきましても、前回の教育委員会定例会後にご覧頂いているところでございます。</p> <p>本日は、委員お一人お一人が、選定委員会の答申内容も参考に、ご審議の上、採択いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、令和3年度使用中学校教科用図書の採択につきまして、ご審議の程、どうぞよろしくようお願い申し上げます。</p>
富本教育長	それでは、国語について審議します。選定資料における観点について

	て、説明を求めます。
石本理事	人とのかかわりの中で、伝え合う力を高め、思考力や想像力を養うのに役立つ教材が取り扱われているか、人権の取扱いは適切であるか、発達段階に応じた学習内容となっているか、目標や内容との適切な関連があり、生徒の興味・関心を広げたり、深めたりするような工夫がされているか等を、主な観点としております。
富本教育長	4社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。
石本理事	<p>各社の主な特徴をご説明いたします。</p> <p>東京書籍は、各学年で、社会生活に必要な国語について理解し、適切に使う力を育てるような教材が取り扱われております。</p> <p>また、情報の扱い方についても、「学びを支える言葉の力」などで学ぶことができるよう配慮されております。</p> <p>三省堂は、各学年で、情報に関わる単元が取り上げられ、社会生活に必要な国語について理解し、適切に使う力を育てるよう配慮されております。</p> <p>また、人との関わりの中で伝え合う力を高めたり、思考力や想像力を養ったりするような内容が取り扱われております。</p> <p>教育出版は、各学年で、メディアと表現に関わる教材が取り上げられ、社会生活に必要な国語について理解し、適切に使う力を育てるよう配慮されております。</p> <p>また、言葉が持つ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにするような教材が取り扱われております。</p> <p>光村図書は、各学年で、情報の活用に関する教材が取り上げられ、社会生活に必要な国語について理解し、適切に使う能力を育てるよう配慮されております。</p> <p>また、報道文を比較して読むことで、社会生活に必要な言葉を適切に使う能力を育てるだけでなく、国語を学ぶことの必要性を実感できるような教材が取り扱われております。</p>
富本教育長	それでは、ご意見、ご質問を承ります。
中村職務代理	すべての教科書で、「竹取物語」などの日本の古典がたくさん扱われているように思いました。こういった古典について学ぶことは、

	非常に大切だと思うのですが、教科書会社によって、扱いに差はあるでしょうか。
石本理事	古典の扱いにつきましては、中村職務代理のおっしゃった「竹取物語」や「万葉集」、「枕草子」、「徒然草」、「平家物語」などの主な文学作品については各社扱っており、大きな差はないと考えます。これらの教材を学習することで、古典に親しむ態度が育成できるようになっております。
富本教育長	他にご意見やご質問はございませんか。
安明委員	どの教科書も内容がしっかりしていて、学びが深まりそうだと思いますのですが、選定委員会の答申としては、どのような意見が出ていますか。
石本理事	選定委員会としましては、図書館活用や情報機器活用等との関連を多く取扱い、学習に広がりを持たせることができる教科書が望ましいとの意見がありました。それらを総合しますと、採択の候補としては、東京書籍、三省堂、光村図書を挙げさせていただきたいと思っております。
谷野委員	図書館との関連ということが挙げたそうですが、子どもたちには、本を読むことを通して、豊かな心を持ってほしいと思っています。教材を通して、子どもたちが読書に興味を持ってくれればうれしいと思うのですが、先ほど挙がっていた3つの会社では、どんな工夫がされていますか。
石本理事	3社とも、子どもたちが読書に親しむことができるような工夫がなされています。 東京書籍では、「本で世界を広げよう」や「本の世界を楽しもう」というページを設け、さまざまなテーマで本を紹介しております。 三省堂では、作家の読書体験を紹介する「私の読書体験」というページやテーマ別に書籍を紹介する「小さな図書館」、各単元に関連する書籍を紹介する「私の本棚」などのコーナーが設けられています。 光村図書では、各学年の読書活動に関する単元において、書籍の紹介だけでなく、読書に親しむ活動が取り上げられています。

谷野委員	<p>読書については、どの教科書を使用しても、子どもたちの学びが深まっていきそうですね。</p> <p>学習への広がりという意味での読書とともに、学びを振り返って、基礎的な力をつけていくことも必要だと思うのですが、各社教科書の最後の部分に、まとめて取り扱われていたと思います。このあたり、3社の特徴と選定委員会としての意見も教えてください。</p>
石本理事	<p>谷野委員のおっしゃるように、どの会社も教科書の最後の部分に、資料とあわせて、1年間の学びを振り返る箇所が設けられています。ここまで出ております3社について、特徴と選定委員会としての意見を申し上げます。</p> <p>東京書籍では、巻末の折り込みとして、『学びを支える言葉の力』のまとめ」が設けられており、論理的な言葉の力と文学的な言葉の力について学んだことが端的にまとめられています。</p> <p>三省堂では、巻末の折り込みとして、「読み方を学ぼう 一覧」が設けられており、説明文の基本構造や物語文の情景描写等、文章を読むときのポイントについて、復習できるようになっております。</p> <p>光村図書では、巻末の「学習を広げる」の冒頭で、「文学的な文章を読むために」、「説明的な文章を読むために」、「情報と情報との関係」、「豊かに表現するために」など、各教材で出てくる「学習の窓」や「思考のレッスン」といったポイントを押さえる箇所がひとまとめになって掲載されています。</p> <p>選定委員会としましては、どの教科書についても1年間の学習内容をきちんと復習できるようになっていると考えます。</p>
教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
新田委員	<p>今あがった3社の巻末を拝見しますと、光村図書がページ数も多くて、復習がしやすそうですね。家庭学習へのつながりという意味でも、子どもたちが使いやすいそうですね。</p>
井手委員	<p>私も見ましたが、新田委員のおっしゃったように、光村図書が、復習についての取扱いは一番充実しているように思います。また、「学習を広げる」では、それ以外の部分も充実しており、学びを広げることができそうだと思うので、光村図書が良いのではないのでしょうか。</p>

教育長	光村図書を推す意見が出ていますが、いかがでしょうか。
新田委員	先ほどまであがっていた以外にも、各学年の初めに「思考の地図」という折り込みがあつて、すぐに確認できるのも良いと思います。子どもたちには自分で考えをまとめられるようになってほしいと思います。
井手委員	子どもたちにとっても復習がしやすいという点では、やはり、光村図書が良さそうではないでしょうか。
富本教育長	光村図書を推す意見が多いようですが、他にご意見はございませんでしょうか。
富本教育長	ご意見がないようですので、それでは、質疑を終結します。お諮りいたします。国語について、光村図書を採択することに、ご異議ございませんか。
	(「異議なし」 の声)
富本教育長	異議なしと認めます。国語につきましては、光村図書を採択することに決定いたします。 続きまして、書写についてご審議いただきます。選定資料における観点について、説明を求めます。
石本理事	書写の能力を各教科の学習活動や日常生活に役立てる態度が養われるような配慮がされているか、人権を尊重する内容が、偏りなく扱われているか、毛筆を使用する書写の指導は、硬筆による書写の能力の基礎を養うように示されているか、伝統的な文字や様々な文字文化の特徴に気づき、その後の学習で活用できるような工夫がなされているか等を、主な観点としております。
富本教育長	4社の教科書がございりますが、各社の特徴について、説明を求めます。
石本理事	各社の教科書について、先ほど観点で申し上げました、毛筆の指導が硬筆による書写の能力の基礎を養うように示されております。それ

	<p>以外の部分について、各社の主な特徴をご説明いたします。</p> <p>東京書籍は、「見つけよう」「確かめよう」「生かそう」「振り返って話そう」「生活に広げよう」という流れで学習を進める構成となっており、「書写のかぎ」で学習のポイントが示されております。</p> <p>三省堂は、「目標を確かめよう」「書き方を学ぼう」「見つけよう・考えよう」「毛筆で書こう」「学習を振り返ろう」「書いて身につけよう」「自分の言葉でまとめよう」という流れで学習を進める構成となっており、「書き方を学ぼう」で学ぶポイントが示されております。</p> <p>教育出版は、「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」という流れで学習を進める構成となっており、「考えよう」で学ぶポイントを記述する欄が示されております。</p> <p>光村図書は、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という流れで学習を進める構成となっており、「学習の窓」でポイントが示されております。</p>
富本教育長	それでは、ご意見、ご質問を承ります。
安明委員	各社の教科書を読んだときに、日常生活で文字を書く場面がたくさん取り扱われているように思いました。冒頭のご説明でもあったように、書写の授業が、日常につながっていくということが重要だと思うのですが、各社の取扱いに差はありますか。
石本理事	手紙やはがき、原稿用紙の書き方などをはじめ、のし袋や小包伝票に至るまで、さまざまな内容を扱っており、日常生活の書く場面につながる内容となっております。取り上げているページ数としては、東京書籍、教育出版の2社が特に多くなっております。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
中村職務代理	先ほどのご説明の通り、日常生活につなげることを考えると、取り扱いのページの多さとしては、先ほどあげていただいた、東京書籍、教育出版のいずれかが良いと思います。
富本教育長	他にご意見、ご質問はありませんか。
井手委員	私も日常生活とのつながりを考え、その2社が良いのではないかと

石本理事	<p>思います。大人になると毛筆に触れる機会がほとんどなくなってしまおうと思うので、中学生の間に、たくさん触れてもらえたらと思うのですが、その2社では、どちらが多く取り扱っていますか。</p> <p>毛筆については、東京書籍が21の題材を扱い、教育出版が29の題材を扱っていますので、教育出版の方が、多くの題材を扱っているといえます。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんでしょうか。</p>
新田委員	<p>どちらの教科書も1年生の復習など、非常にていねいに書かれている印象がありましたが、ノートの書き方や、情報の整理の仕方など、他の教科につながるような内容が教育出版で、たくさんあったように思います。</p>
安明委員	<p>他の教科につながっていくというのは、とても大切だと思います。そう考えると、教育出版の教科書が良いのではないのでしょうか。</p>
富本教育長	<p>教育出版を推す声がございますが、他にご意見はございませんか。ご意見がないようですので、質疑を終結いたします。お諮りいたします。</p> <p>書写について、教育出版を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（ 「異議なし」 の声 ）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。書写につきましては、教育出版を採択することに決定いたしました。</p> <p>続きまして、地理について審議いたします。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>地理的事象の扱いを通して、地域的特色や課題を捉えるとともに、地方的特殊性や一般的共通性に結びつける内容について適切に扱われているか、地図、写真、挿絵、図、表、統計資料などについて、生徒の発達段階に応じた内容になっているか、興味・関心をもって意欲的に取り組み、主体的に学習する力を育むために創意工夫されているか等を、主な観点としております。</p>

富本教育長	地理は、4社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。
石本理事	<p>各社とも、観点で申し上げました、地図、写真、挿絵、図、表等の資料については、適切に扱われております。また、地球規模の課題に対応するために、国連が平成27年に定めた「持続可能な開発目標」いわゆる、「SDGs(エスディージーズ)」といった最新の課題についても、どの教科書においても扱っております。その部分も含め、各社の主な特徴をご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、巻頭に「持続可能な社会の実現に向けて」というページを設け、地球的課題という視点を取り入れたり、さらに第4章では、身近な地域の課題やその解決策等に触れたりすることで、社会の一員としての学びが意識できる内容になっております。</p> <p>教育出版では、巻頭の「地理の学習を始めるにあたって」は、新しい学習指導要領を強く意識した内容となっております。</p> <p>また、地理的な見方・考え方の一つとして、「地球的課題とSDGs(エスディージーズ)」が明確に示され、世界の諸地域における課題を地球的課題と関連付けながら理解できるようになっております。</p> <p>帝国書院では、巻頭に、地理的な見方・考え方の一つとして「地球的課題とSDGs」を提示しております。</p> <p>さらに、学習の仕方として、「主体的な学び」が実践できる流れが各単元で組み立てられ、「対話的な学び」・「深い学び」については、コラムとして組み立てられております。</p> <p>日本文教出版では、巻頭の「地理との出会い」では、地理的な見方・考え方がどのようなものか、日常生活に即した具体的な例をあげながら示すことで、理解しやすい内容になっております。</p>
富本教育長	それでは、ご意見、ご質問を承ります。
井手委員	地理の学習では、さまざまな課題について、子どもたち同士が話し合う活動などを通して、学びを深めてほしいと思うのですが、このあたり選定委員会のご意見はいかがですか。
石本理事	井手委員のおっしゃる、子どもたちが話し合う活動などの、いわゆる言語活動といった部分について申しますと、選定委員会としては、東京書籍、帝国書院、日本文教出版の3社の特徴について、話題になり

	<p>ました。</p> <p>東京書籍では、章末の「まとめの活動」に設けられた「みんなでチャレンジ」や、特設ページ「資料から発見」を通じて、各章で学んだことを、地理的な見方・考え方を働かせ、考えたり判断したりして表現する活動に結び付けております。</p> <p>帝国書院では、各章・節の最後の「章（節）の学習をふり返ろう」というコーナーで、地理的な見方・考え方を働かせる言語活動が取り入れられております。</p> <p>日本文教出版では、「チャレンジ地理」のページで、具体的な課題について、自分の考えをまとめたり、話し合ったりしながら表現する活動ができるようになっております。</p>
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
谷野委員	この3社で、創意工夫が見られるのは、こういった箇所になりますか。
石本理事	<p>東京書籍では、「資料から発見！」の特設ページで資料を活用する力に特化し、読み取ったり考えたりする活動ができるようになっております。</p> <p>また、「スキルアップ」のコーナーでは、地理の学習に必要な技能を「集める」「読み取る」「まとめる」の3つの技能に分けて身につけられる工夫がなされております。</p> <p>帝国書院では、「未来に向けて」「地域の在り方を考える」の各コラムが全てSDGsに関連した内容となっており、社会の一員としての学びが意識できる内容となっております。</p> <p>また、「技能をみがく」というコラムでは、地理の学習を進めるうえで必要な基礎的スキルを身につけられるようになっており、種類も豊富であります。</p> <p>日本文教出版では、第4章「地域のあり方」において、京都市を例に挙げ、章全体を「地域の課題をつかむ」「地域の特色をつかむ」「課題の要因を考察する」「解決に向けて構想する」「まちづくり会議」という構成に仕立て、課題解決型学習ができるようになっております。</p>
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。

中村職務代理	今のご説明を聞いていますと、地理に必要な技能をおさえるという意味では、東京書籍か帝国書院が良さそうな気がしますね。
新田委員	先ほどの2社ですと、私は帝国書院が、より良いのではないかと感じました。難しい用語の解説がその都度出ており、学習しているページを開いたまま確認できる点が良いと感じました。他の資料を扱うことも多くなるでしょうし、ページの移動は少ない方が勉強しやすいと思います。
中村職務代理	たしかに、帝国書院のように、学習しているページを開いてそのまま確認できるのは便利ですね。東京書籍も扱っている用語が多い部分では良いと思いますが。帝国書院は、「技能をみがく」でも、説明が充実していて、子どもたちが学習を進めるのに役立つと思います。QRコードもこのコーナーに直接載せられていますので、具体的な方法の確認につなげることができます。そうした意味でも帝国書院が良いのではないのでしょうか。
富本教育長	帝国書院を推す声が出ておりますが、他にご意見はございませんか。ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。地理について、帝国書院を採択することに、ご異議ございませんか。 (「異議なし」の声)
富本教育長	異議なしと認めます。地理につきましては、帝国書院を採択することに決定いたします。 続きまして、歴史について審議いたします。選定資料における観点について、説明を求めます。
石本理事	我が国の歴史と世界の動きを関連付け、大きな流れで捉えることについて、社会科の目標達成のために適切な内容が扱われているか、国際協調の精神や他者を思いやる豊かな人間性を育むことについて、基本的人権を尊重する立場に立った内容が扱われているか、興味・関心をもって意欲的に取り組み、主体的に学習する力を育むために創意工夫されているか等を、主な観点としております。
富本教育長	歴史については、7社の教科書がありますが、学び舎については、2

石本理事	<p>市1町に調査用教科書の見本が届いておらず、調査そのものを行うことができませんでしたので、候補から省かせていただきます。残り6社の特徴について、説明を求めます。</p> <p>各社の特徴について、ご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、第1章で歴史の流れをつかませ、各章の導入部では、日本のみならず年表で世界の動きも連動して示しており、流れがつかみやすく、世界の中の日本の姿を学習する手助けになるような内容となっております。</p> <p>教育出版では、子どもの日常生活や経験と関連の深い身近な話題・内容が多く取り上げられており、巻頭・巻末のページには、興味・関心を引く写真資料が豊富に盛り込まれ、学ぶ楽しさや意欲が高まるように配慮されております。</p> <p>帝国書院では、教科書の内容の取扱いについて、最初に使い方の説明がしっかりとされており、分かりやすい内容となっております。また、「歴史的な見方・考え方を働かせよう」という解説を掲載することで、多面的・多角的に考察する筋道を示すような内容となっております。</p> <p>山川出版では、各単元が、導入の発問→本文→ステップアップによるふり返し、という流れで統一されており、知識・技能を身につける構造となっております。また、発問によって、どこに注目すべきかの示唆を与え、歴史への興味・関心を引き起こす工夫がなされております。</p> <p>日本文教出版では、各編の導入部に、「地図で見る世界の動き」を掲載し、世界の様子を概観して学習を始め、世界の動きの中で日本の歴史を捉えることができるよう構成されております。</p> <p>育鵬社では、日本の歴史が外国と密接な関係と文化交流により成り立ってきたことが、わかりやすく書かれております。また、諸外国との交流や国際環境等が、世界史とのかかわりの中で記述されております。</p>
富本教育長	<p>それではご意見、ご質問を承ります。</p>
井手委員	<p>歴史の学習では、資料を活用して学習を深めてほしいと思うのですが、このあたり、各社の取扱いはどうなっていますか。</p>

石本理事	<p>資料の取り扱いについてですが、教科書本文中 2 ページを見開いた際の地図や図・表、グラフ等の掲載が多かった、東京書籍、帝国書院、山川出版、日本文教出版について、ご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、資料の掲載部分が大きく見やすく、数も豊富であります。また、資料についての注釈や説明についてもわかりやすく入っており、人物についても短文で要約して紹介されているので、分かりやすい内容となっております。</p> <p>帝国書院では、資料の色づかいが鮮やかで、情報量も多くなっており、世界史の内容についてもイラストでわかりやすくなっており、地図から読み取れる情報が多種にわたるように取り扱われております。</p> <p>山川出版では、資料の内容が詳細で、情報量が多くなっております。また、時代の特色や全体の流れ等を理解しやすい構成となっております。現代文に訳された資料も読みやすくなっております。</p> <p>日本文教出版では、資料と文章の配置が統一され、すっきりとした印象を受けます。また、基本用語の説明が同じページ内にあり、見やすくなっております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p>
谷野委員	<p>資料については、今の 4 社の取り扱いが充実しているとのことでしたが、それぞれの資料を見比べた時に、情報量や大きさと兼ね合いで、見やすいのは、東京書籍、帝国書院、日本文教出版の 3 社かと思えます。そう考えると、この 3 社の中から選ぶのが良いかと思うのですが、他に工夫されている箇所はありますか。</p>
石本理事	<p>他に創意工夫がなされている点ということですので、それぞれご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、146 ページなどのように、思考を整理する多様なツールを 3 分野で豊富に提示し、学習内容を模式化して関連付けや比較を視覚的にわかりやすくするツールの使い方を紹介しており、効果的な学習方法を身につけることができるようになっております。</p> <p>帝国書院では、24 ページなどのように、「タイムトラベル」というコーナーがあり、そこのイラストには、時代の様子が生き生きと描かれており、視覚的にわかりやすく、時代への興味・関心を高めてから学習に入ることができるようになっております。</p>

	<p>日本文教出版では、105ページなどのように、特設ページ「アクティビティ」があり、あるテーマにスポットを当て、その時代による変化を捉え、比較・分析し、そこから他国とのかかわりや自国の発展がつかめるよう、うまくまとめられています。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p>
谷野委員	<p>先ほどのご説明を聞いていて、東京書籍の考えるためのツールというのが、非常におもしろいと感じました。これを知っていると、他の学習や将来的にも役立っていきそうですね。</p>
安明委員	<p>たしかに考えをまとめるのに、とても有効でしょうね。また、東京書籍は、他と比べて話し合い活動をする課題が多かったように思うので、こうした面でも良いのではないのでしょうか。</p>
富本教育長	<p>東京書籍を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。歴史について、東京書籍を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。歴史につきましては、東京書籍を採択することに決定といたします。</p> <p>続きまして、公民について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>現代の社会的事象について多面的・多角的に考察する力や適切に表現する力を育成するよう適切な内容が扱われているか、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者を育成できるよう基本的人権を尊重する立場に立った内容が扱われているか、興味・関心をもって意欲的に取り組み、主体的に学習する力を育むために創意工夫されているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>公民は、6社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>

石本理事	<p>6社とも現代社会の諸課題について考察したり、自分の考えを表現したりしやすい工夫がなされております。それ以外の主な特徴について、ご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、各章初めの「導入の活動」が、興味・関心をもって学習できるよう工夫されており、また、「公民にアクセス」を使って最近の話題等も取り上げ、日常生活との関連付けの工夫もなされております。</p> <p>教育出版では、「公民の窓」のコラムで、身近な話題の具体的事例が多く、社会参画への興味・関心がもてるよう工夫がされております。帝国書院では、「学習の前に」で大きなイラストを描き、これから学習する内容について、イラストと身近な場面を結びつけながら、よりイメージしやすい工夫がされております。</p> <p>日本文教出版では、「アクティビティ」「チャレンジ公民」等で最近の話題等も取り上げ、日常生活との関連付けの工夫がされております。自由社では、家族に関連する学習内容が豊富であり、身近な課題について考えやすく工夫されており、「もっと知りたい」で、最近の話題等も取り上げ、日常生活との関連付けの工夫もされております。</p> <p>育鵬社では、「SDGs」「Society5.0」等、最新の国連が掲げる目標・日本の国家戦略も取り入れ、未来の社会生活の方向性を示しております。</p>
富本教育長	<p>それではご意見、ご質問を承ります。</p>
新田委員	<p>今回の公民の教科書では、コンピュータ技術の発展による社会の変化や、選挙権引き下げに伴う政治参加について、扱っている部分がたくさんあったように思います。このあたり、よりしっかりと扱っているとされる教科書は、どちらになりますか。</p>
石本理事	<p>ページ数と取り扱っている写真・図の数をもとに、選定委員会でも話し合いましたが、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版の教科書が、先ほどご質問のあった2点について、よりていねいに取り扱われていると考えます。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p>
安明委員	<p>先ほどの歴史で決定した東京書籍の教科書であったような、思考を</p>

	<p>深めるためのツールが、公民の教科書では、各社に見られましたが、こちらの取扱いについては、この4社に、何か意見は出ていますか。</p>
石本理事	<p>この4社については、どの教科書にも思考を深めるためのツールが取り扱われておりますが、東京書籍、帝国書院、日本文教出版が取り扱っているツールの数では充実しており、取り扱い方で申しますと、東京書籍、教育出版、日本文教出版が、一つひとつを章末に扱っている面で、使いやすいという意見が出ております。</p>
中村職務代理	<p>今のお話をおうかがいしますと、東京書籍か日本文教出版の教科書が良さそうですね。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問等はございませんか。</p>
井手委員	<p>東京書籍と日本文教出版の各章のはじまりの部分を見比べた時に、東京書籍の方が、自分たちで書く活動を通して考えるようなものになっていました。このように、書いて考えをまとめる活動から入ることで、自分事と捉えて学習を進めることができ良いと思えました。</p>
中村職務代理	<p>たしかに、このように教科書自体に書く欄が設けられているということで、考えを深めるきっかけになると思います。</p>
富本教育長	<p>ただ今、東京書籍を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。 ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。公民について、東京書籍を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。公民につきましては、東京書籍を採択することに決定いたします。 続きまして、地図について審議いたします。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>社会科の目標を達成するための内容になっているか、生徒の発達段階に応じて知識の習得、事象の解釈・説明がなされるよう配慮されて</p>

	<p>いるか、学習活動を効果的に進め、調べ方や学び方が身につけられるよう配慮されているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>地図に関しましては、2社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>2社とも、世界地図、日本地図、図表・写真・グラフ等をバランスよく取り扱っております。また、地図帳の使い方についても冒頭で、ていねいに説明されており、子どもたちが使いやすいような工夫がされております。</p>
富本教育長	<p>それでは、ご意見、ご質問を承ります。</p>
谷野委員	<p>どちらも地図としての使いやすさ、という点ではちがいはなさそうですね。他に特徴的な点はありますか。</p>
石本理事	<p>それぞれの取り扱いとして、特徴的な部分についてご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、歴史的分野や公民的分野との関連のある事項について、それぞれマークで示されていることに加え、写真や地図を用いて資料としても充実した構成となっております。</p> <p>帝国書院では、防災に関する資料、環境に関する資料、日本との結びつきを取り扱う資料にそれぞれ独自のマークを付け、資料をそれぞれの課題に関連づけて見ることができるようになっております。</p>
安明委員	<p>どちらの地図帳もマークをつけることで、関連付けられるようになっているのですね。日本の各地域について、説明のようなものが書かれている箇所が、どちらの地図帳も非常に多く、地域について深く考えるきっかけになって、良いと思ったのですが、取扱いの数に差はありますか。</p>
石本理事	<p>安明委員がおっしゃったように、どちらの地図帳でも自然環境との関連や、産業との関連など、子どもたちが深く考えられるようなコーナーが設けられておりますが、扱っている数としましては、帝国書院のほうが多くなっております。</p>

富本教育長	他にご意見、ご質問等はありませんか。
新田委員	地図として活用するだけでなく、他との関連などで、より深く考えるきっかけを持ってそうなので、帝国書院が良いのではないのでしょうか。
井手委員	私もそう思います。あと、地図としても帝国書院の方が、サイズも大きく、地図の描き方も見やすいように感じました。
富本教育長	<p>帝国書院を推す声が多いようですが、他にご意見はございませんか。ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。地図について、帝国書院を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。地図につきましては、帝国書院を採択することに決定いたします。</p> <p>続きまして、数学について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>数学科の目標を達成するために、適切な内容がとりあげられているか、既習事項の復習及び次学年や高等学校につながる内容について、生徒の発達段階に応じた内容になっているか、学習指導を有効に進められるよう、内容の系統性や配列について適切な配慮がされているか、学習内容を確実に身につけられるよう個に応じた指導に配慮がされているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>数学に関しましては、7社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>各社の主な特徴をご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、もくじで各章に関連する既習事項が示され、巻末では既習内容が例とともにていねいにまとめられております。</p> <p>また、場面に応じて「ちょっと確認」という部分で、既習事項の復習や確認ができるようになっております。</p> <p>大日本図書では、1学年で「算数のふり返し」、2、3年生では「思い出そう」を設けており、場面に応じて既習事項の復習、確認をしない</p>

	<p>がら課題に取り組めるようになっております。</p> <p>また、次学年につながる内容を「発展」で示し、生徒の関心や意欲を引き出すものになっております。</p> <p>学校図書では、もくじで各章に関連する既習事項が示されております。</p> <p>また、各章の前には、その章に関連する既習事項の内容を「ふりかえり」で確認することができるようになっております。</p> <p>教育出版では、各章の直前に、その章で扱う内容が復習できるように、「学習する前に」というコーナーが設けられております。</p> <p>また、「もどって確認」で、場面に応じた既習事項の確認ができるようになっております。</p> <p>啓林館では、場面に応じて「ふりかえり」で既習事項の確認ができるようになっております。また、既習事項に関連するさまざまなパターンの問題を「例題」で示し、その解法も詳しくていねいに書かれております。</p> <p>数研出版では、各章の直前に、その章で使う内容が復習できるように「各章の学習の前に」というコーナーが設けられております。</p> <p>また、場面に応じて「ふりかえり」があり、既習事項の復習、確認をしながら課題に取り組めるようになっております。</p> <p>日本文教出版では、1年生のはじめにある「算数のたしかめ」で、特によく使う内容を復習することができるようになっております。</p> <p>また、各章の直前には、その章で扱う内容が復習できるように、「次の章を学ぶ前に」のコーナーが設けられております。</p>
富本教育長	<p>それでは、ご意見、ご質問を承ります。</p>
新田委員	<p>ただいまのご説明を聞きますと、どの教科書でも学年間の系統性が、とても意識されているように思いました。中学校で学ぶ数学となると、小学校までの算数よりも、さらに内容が高度になると思うのですが、そうした中でも、子どもたちが興味を持って取り組めるような工夫はありますか。</p>
石本理事	<p>子どもたちが興味・関心をもって学べる工夫として、選定委員会で話題にあがったのは4社ございます。</p> <p>東京書籍では、「数学の窓」というコーナーを設けることで発展的な内容に興味を持たせつつ、発展マークと章末の「活用の問題」で先の</p>

	<p>ステップに進めるような工夫がなされております。</p> <p>啓林館では、「数学ライブラリー」という読み物のコーナーを設け、発展的な内容に興味を持たせつつ、「力をつけよう」や「学びをいかそう」でつけた力を活用できるよう工夫されております。</p> <p>数研出版では、「数学旅行」という読み物のコーナーと「探求ノート」で発展的な内容に興味を持たせつつ、発展マークとチャレンジ編で先のステップへ進めるよう工夫がされております。</p> <p>日本文教出版では、「数学のたんけん」という読み物のコーナーと「数学研究室」で発展的な内容に興味を持たせつつ、発展マークと活用の問題で先のステップへ進めるような工夫がされております。</p>
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
中村職務代理	今ご説明いただきました4社の中で、選定委員会として、何か意見は出ておりませんか。
石本理事	組織・配列の部分で、特徴的な部分があり、「2次方程式」の学習について、単元全体の配列としては、数研出版か日本文教出版の教科書が、より基礎的なものから高度な内容に学びを深めている過程がスムーズで教師の側からしても取り扱いやすいのではないかと、という意見になっております。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
安明委員	「2次方程式」は、非常に難しい内容だと思うので、今お話のあった2社が、子どもたちにとって、より良いものだと思います。数学に限らず、どの教科でも同じかと思いますが、自力で問題解決にあたることができることが重要だと思います。そうした部分、この2社はいかがですか。
石本理事	両社とも、言葉はちがうものの授業でのめあてが提示されており、学習内容のゴールを見据えて、問題解決にあたることができるようになっております。また、問題解決にあたるうえで、例題に着目しましても日本文教出版が、全社中最も多く、続いて数研出版となりますので、どちらも適切であると思います。

富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
井手委員	基礎基本の定着や家庭学習との関連という意味でも、その2社のいずれも良さそうですね。今回の教科書では、友達と話し合いをしながら授業を進めたり、言葉で説明させたりするような内容になっている箇所が多かったと思いますが、この2社はいかがでしょう。
石本理事	井手委員がおっしゃった、いわゆる対話的な活動や言葉で説明するような言語活動の部分についてご説明しますと、数研出版では、別冊の探求ノートで、言語活動が円滑に進められるような内容となっております。日本文教出版では、巻末の対話シートで言語活動が円滑に進められるよう工夫されており、章末の「説明できるかな？」につながられております。
谷野委員	今ご説明のあった部分を見比べてみますと、日本文教出版の方が使いやすいような印象を受けます。
新田委員	私もそのように思います。授業で対話することは、重要だと思いますので、日本文教出版が、より良いのではないのでしょうか。
富本教育長	日本文教出版を推す声が多いようですが、他にご意見はございませんか。 ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。数学について、日本文教出版を採択することに、ご異議ございませんか。
	（「異議なし」の声）
富本教育長	異議なしと認めます。数学につきましては、日本文教出版を採択することに決定いたします。 続きまして、理科について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。
石本理事	自然の事象・現象に進んでかかわる興味・関心を持たせられるよう適切な内容が取り扱われているか、生徒の安全確保や事故防止について配慮されているか、学習内容がどのように実社会とつながり、活か

	<p>せるのか実感できる工夫がなされているか、生徒が学習後、より発展的に学習する意欲につながる工夫がなされているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>理科につきましては、5社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>各社の主な特徴を申し上げます。</p> <p>東京書籍では、実験の学習内容の直前に「予想しよう」が、参考にする内容とともに書かれており、実験の結果が次のページで扱われております。</p> <p>また、既習事項は「これまでに学んだこと」で示され、本文の横に注釈があり、高等学校へのつながりは、「発展・高校」の表示で詳しく示されております。</p> <p>大日本図書では、実験の目的、着眼点、準備物、手順が簡潔に示されております。</p> <p>また、既習内容とのつながりについては、各単元の最初に「これまでに学習したこと」がまとめて示され、「これから学習すること」とのつながりが分かるようになっております。</p> <p>学校図書では、「気づき」「課題」「仮説」「計画」を設け、実験・観察につなげてあり、生徒にとって流れがつかみやすくなっております。</p> <p>また、章のはじめの「ふり返ろう・つなげよう」という部分で、小学校からの系統性について、意識した内容になっております。</p> <p>教育出版では、実験レポートの中に、課題、仮説、実験、考察、結論まで強調されて示してあり、予想を立て実験を行う手順がよくわかるようになっております。</p> <p>また、章の初めに「おさらい」「これまでの学習」が示され、既習事項とのつながりが明示されており、高等学校とのつながりについては、「発展」として示されております。</p> <p>啓林館では、実験前に予想と仮説を立てて行うように示されており、実験だけでなく、話し合い活動のモデルが「探求クラブ」として示されており、視覚的なモデルなどを用いて理解しやすい工夫がされております。</p> <p>また、既習事項は「思い出してみよう」や「つながる学び」で振り返ることができ、高等学校へは「発展」でつながりが示されております。</p>

富本教育長	それでは、ご意見、ご質問を承ります。
井手委員	実験などの手順や、小学校や高校との系統性という面では、どの教科書も非常にていねいに扱われているのですね。中学生になると、小学校のときよりもさらに、自分で実験を計画することなども必要になってくると思うのですが、そのあたりの取り扱いの数はいかがですか。
石本理事	井手委員がおっしゃるように、課題に対して、自ら計画して実験をしていく活動は、選定委員会でも大切だという意見が出ております。そうした部分では、東京書籍、教育出版、啓林館の3社で数多く取扱いがあります。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
安明委員	冒頭のご説明でも、各社が系統的に学習を行うという点で、それぞれ工夫されているということでしたが、学習内容を積み重ねるうえで、学んだことが確実に身につけているということが重要だと思います。こうした面では、先ほどの3社は、どのように取り扱われていますか。
石本理事	3社とも、そうした部分でも非常にていねいに取り扱われております。具体的にご説明いたします。 東京書籍では、各単元の最後に「学習内容の整理」として、重要な語句と内容の確認が示されており、「確かめと応用」として、テストの模擬問題が示されております。 教育出版では、単元の最後に基本用語、基礎問題を取り扱っており、学習内容を定着できるような工夫がなされております。 啓林館では、章末に「基本のチェック」、単元末に「学習のまとめ」「力だめし」があり、学習内容に関する応用問題なども示されております。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
中村職務代理	先ほどご説明いただいた部分について、3社を見比べてみますと、東京書籍と啓林館が、より充実した内容になっているように思います。

	た。
谷野委員	私も中村職務代理と同じように感じました。 ところで、理科で学習した内容が、環境保全について考えるきっかけになったり、防災のことについて考えるきっかけになったりするかと思うのですが、今回の教科書では、各社そのような取り扱いがなされていたように思います。これらの取り扱いについて、東京書籍と啓林館に差はありますか。
石本理事	両社とも、今お話のあった環境保全や防災についても非常にていねいに取り扱われておりますが、啓林館の方が、より取扱いが多いという意見が選定委員会では出ております。
中村職務代理	そう考えますと、啓林館の教科書が、子どもたちが環境保全や防災について、よりしっかりと考えることができそうだと思います。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
新田委員	各社QRコードがついていて、学習に関係した内容の動画等が見られるようになっておりましたが、理科の学習では、こうした映像的な手助けが非常に大切だと思います。そうした意味では、啓林館の方が、内容に合わせて、その都度QRコードが出ている印象で、使いやすいように思いました。
谷野委員	新田委員がおっしゃったように、その都度確認できる方が、見る側としても参考にしやすく、とても良いと思います。
富本教育長	ただ今、啓林館を推す声が多いようですが、他にご意見はございませんか。 ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。理科について、啓林館を採択することに、ご異議ございませんか。
	(「異議なし」の声)
富本教育長	異議なしと認めます。理科につきましては、啓林館を採択することに決定いたします。

	<p>続きまして、音楽（一般）について審議いたします。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>音楽の背景にある歴史や文化に視点を持ち、多様な文化を理解できるような配慮がなされているか、表現と鑑賞が生徒の発達段階に応じて、様々に組み合わせられ、多様な学習活動を展開できるように適切に配慮されているか、生徒が音楽活動への意欲を高め、主体的に音楽活動ができ、生涯にわたり音楽に親しむ態度を身につける内容となっているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>2社の教科書がございますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>教育出版と教育芸術社の両社とも、音楽や芸術の多様性を伝える各界の著名な人物、楽器や舞台芸術を取り上げるなど、音楽を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、音楽に親しむ態度を養うような内容となっております。</p> <p>また、聞き取ったことや感じたこと等を記録し、発表したりすることで、音楽的な見方・考え方を働かせながら思考、判断し、表現できるような工夫がなされております。</p> <p>こういった面では、特に大きな取扱いの違いは見られません。</p>
富本教育長	<p>それではご意見、ご質問を承ります。</p>
井手委員	<p>今うかがったところでは、大きなちがいはないようですね。音楽の教科書では、音符などの説明が資料として扱われているかと思いますが、この辺り両社の取扱いはいかがでしょう。</p>
石本理事	<p>教育出版では、巻末に「楽典」として、音符・休符の説明やハ長調、へ長調などの調についての説明等が、ていねいに示されております。教育芸術社においても、巻末に「音楽の約束」として、音符・休符の説明やハ長調、へ長調などの調についての説明等が、ていねいに示されております。</p> <p>どちらもポイントとしておさえるべきところは網羅しているように思いますが、大きなちがいとしては、教育芸術社には、和音についての説明があることがあげられます。</p>

井手委員	今のご説明をお聞きしますと、両社ともふりかえりという部分では、ほぼ変わりはないようですが、教育芸術社は、和音の部分では充実していると言えそうですね。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
安明委員	音楽の授業としては、歌唱教材や器楽教材と、さまざまあると思うのですが、教科書の構成を見たときに、バランス等について、選定委員会では、何か意見は出ていませんか。
石本理事	歌唱教材の充実度合いとしては、教育芸術社の方が取り扱っているページ数が斉唱・合唱共に多くなっております。器楽教材については、教育出版の方が多くなっております。また、教科書全体を見渡した際に、旋律づくりなど、生徒に主体的に活動させる面では、教育芸術社の方が取り組みやすそうだという意見が出ております。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
谷野委員	先ほどのご説明をうかがいますと、教育芸術社が良いかと思えます。合唱等に積極的に取り組んでほしいということと、オリジナルで旋律を作ったり、という部分でも充実したものになるのではないのでしょうか。
富本教育長	教育芸術社を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。ご意見がないようですので、質疑を終結といたします。お諮りいたします。 音楽（一般）について、教育芸術社を採択することに、ご異議ございませんか。
富本教育長	<p style="text-align: center;">（「異議なし」の声）</p> <p>異議なしと認めます。音楽（一般）につきましては、教育芸術社を採択することに決定といたします。 続きまして、音楽（器楽）について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>

石本理事	一人ひとりの生徒がお互いを尊重し、認め合いながら学習できるような配慮が適切にされているか、生徒の発達段階に応じて、様々な演奏形態を提示し、学習活動が効果的に進められるよう適切に配慮されているか、様々な音楽活動に興味を持つような工夫がされているか等を、主な観点としております。
富本教育長	音楽（器楽）については、2社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。
石本理事	教育出版と教育芸術社の両社とも、大きなちがいはなく、生活や社会の中の音や音楽について考える教材を幅広く取り入れるなど、音楽を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う内容となっております。 また、楽器の特徴を踏まえて、考えたことを書く欄や、創作した音やリズム等を記載する欄が設けられており、自分の考えや作品を紹介しあうことで、互いの見方・考え方を知り、さらに言語活動を進めていけるような工夫がされております。
富本教育長	それではご意見、ご質問を承ります。
井手委員	先ほどの音楽（一般）と同じで、大きなちがいというのはないですね。選定委員会では、どのような意見が出ましたか。
石本理事	教科書の最後の部分で扱われている合奏の部分について、教育芸術社の方が充実しているという意見が出ております。教育出版も曲の難易度で段階を経ている部分に工夫があるのですが、教育芸術社は、合奏に重要な各種打楽器の演奏法についてていねいに触れられており、理解しやすい内容となっております。
安明委員	今のご説明を聞きますと、教育芸術社が、合奏に取り組む上では、授業をしやすいように思いますね。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
谷野委員	音楽（一般）と同じく、教育芸術社が、私も良いと思います。

富本教育長	<p>ただ今、教育芸術社を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。</p> <p>ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。音楽（器楽）について、教育芸術社を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。音楽（器楽）につきましては、教育芸術社を採択することに決定いたします。</p> <p>続きまして、美術について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな情操を培うよう配慮されているか、学年、単元、題材を系統的に考えた適切な組み合わせになっているか、多様な技法や表現形式を取り扱い、生徒が活動の中で主体的に選択できる内容になっているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>美術につきましては、3社の教科書がございます。各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>開隆堂では、「美術の用語」についての解説がその都度あり、美術文化についての理解を深めるきっかけとなるよう取り扱われております。</p> <p>また、各領域のページにおいて、学習の意味を理解してから表現活動に取り組むことで、主体的に学習に入っていけるよう工夫されております。</p> <p>光村図書では、用具についての説明について、色鉛筆と絵の具だけでなくパステルがあり、絵の具の使用方法については、準備の仕方まで図版で分かりやすく示されております。</p> <p>また、グループで活動する場面や、発表をする場面、自分の思いを言葉にする場面などが設定されており、言語活動の充実を図れるよう工夫されております。</p> <p>日本文教出版では、生活や環境の中の造形から、美しさを感じた生徒作品が多く掲載され、自分が伝えたい内容を他者や社会に発信する</p>

	<p>参考になるよう取り扱われております。</p> <p>また、題材ページに「造形的な視点」を設定しており、感じたことを意識させ、活動と知識が結びつくよう工夫されております。</p>
富本教育長	<p>それではご意見、ご質問を承ります。</p>
新田委員	<p>美術の授業では、さまざまな技法や鑑賞する際の観点について学習し、作品作りにつなげていくと思うのですが、各教科書、巻末資料としてそのような部分がありました。このあたり、取り扱いに何か違いはありますか。</p>
石本理事	<p>各社とも、巻末で、表現や鑑賞に関連した資料が掲載されております。取扱いの総ページ数でいうと、光村図書と日本文教出版の2社がより多くなっております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p>
谷野委員	<p>先ほどあがった光村図書と日本文教出版が良いと思うのですが、他に特徴的なところはありますか。</p>
石本理事	<p>両社とも、生徒が主体的に学習を進められるような工夫がされております。</p> <p>光村図書では、発想や構想の手段を掲載することで、主体的な学習につなげる工夫をしており、日本文教出版では、生徒作品を多数掲載することで、生徒の制作意欲を高め、主体的な学習を促すような工夫がされております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問等はございませんか。</p>
安明委員	<p>選定委員会では、この2社のちがいについて、何か意見は出ていませんか。</p>
石本理事	<p>選定委員会では、この2社を比べた時に、光村図書には、説明的な部分が比較的多く、日本文教出版では、説明的な部分はできるだけカットしており、掲載された作品等からイメージを膨らませるようになっている、といった意見が出ておりました。</p>

中村職務代理	今の説明をおうかがいしますと、私は日本文教出版の方が、より良いと思います。どうでしょうか。
富本教育長	皆様、いかがでしょうか。
新田委員	子どもたちには、作品そのものから想像力を膨らませてほしいと思いますので、私も日本文教出版が良いと思います。
富本教育長	日本文教出版を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。ご意見がないようですので、質疑を終結いたします。お諮りいたします。 美術については、日本文教出版を採択することに、ご異議ございませんか。
	（「異議なし」の声）
富本教育長	異議なしと認めます。美術につきましては、日本文教出版を採択することに決定いたします。 続きまして、保健体育について審議いたします。選定資料における観点について、説明を求めます。
石本理事	民族や国、人種や性、障がいの有無など、一人ひとりの違いを大切にしようとするなどの意欲や態度を育み、運動や健康課題に多様な関わり方を選択、実践できるように配慮されているか、学習活動が効果的に進められるよう、系統的に配列されているか、運動や健康に関する課題に対して、知識を活用し解決するような学習が取り入れられているか等を、主な観点としております。
富本教育長	保健体育につきましては、4社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。
石本理事	4社ともに、保健編では、自他の健康保持・増進のための思考力・判断力・表現力を身につける適切な内容が取り扱われているとともに、体育編では、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する意欲・態度を育成する適切な内容が取り扱われております。 それ以外に、特徴的な部分についてご説明いたします。

	<p>東京書籍では、たくさんの写真に加えて、章の扉には、「偉人の紹介」もあり、学習への興味・関心を引き出すようになっております。</p> <p>大日本図書では、口絵に世界で活躍する人物のメッセージや、スマートフォンとの付き合い方を取り上げており、健康への前向きな態度を示しております。</p> <p>大修館（たいしゅうかん）書店では、口絵や章の扉に、たくさんの写真やイラストが掲載されており、学習内容を身近なものに感じさせるようになっております。</p> <p>学研みらいでは、絵や写真にメッセージが添えられており、運動や健康に興味・関心を引き出すものとなっております。</p>
富本教育長	<p>それではご意見、ご質問を承ります。</p>
新田委員	<p>各社の学習内容についての取り扱いは、いかがでしょうか。</p>
石本理事	<p>各社とも、保健教育の中で大切にしてほしい、性教育や喫煙・飲酒・薬物乱用の危険性についての内容は、とても充実しております。また、体育分野の中では、民族や国、障がいの有無などの違いを超えてスポーツが人々を結びつける、といった内容が取り扱われております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問等はございませんか。</p>
井手委員	<p>内容については、どの教科書を使用しても、しっかり学習効果が得られそうですね。教科書の中に、それぞれ資料やコラムのようなものが多数紹介されていたように思いますが、このあたりについてご説明をお願いできますか。</p>
石本理事	<p>東京書籍では、各単元に資料が多く載せられ、章末の資料も十分な量があり、理解を助け、学びを深めることができるようなものになっており、各学習内容に関連した「読み物」もあるので、知識を深めることができるようになっております。</p> <p>大日本図書では、ページ下の余白に、「ミニ知識」が書かれており、知識を深めることができるとともに、各単元にある「リンク」のマークでは、他の単元や他教科との関連が示されております。</p> <p>大修館書店では、ページ下の余白に、「web 保体情報館」のマークが</p>

富本教育長	<p>あり、その箇所はQRコードから外部のサイトにつながり、資料を見ることができるようになっております。</p> <p>学研みらいでは、下の余白に「情報サプリ」「リンク」「探求」など、自主的に知識・技能を広げていくことができるほか、QRコードから動画や外部リンクにつなげることができるようになっております。</p> <p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p>
安明委員	<p>各社、思春期の話を扱う際に、性について学習する箇所がありました。教科書によっては、性的マイノリティについて扱われているものがあり、子どもたちにも考えるきっかけにしてもらいたいと感じたのですが、そうした扱いについては、各社いかがでしょうか。</p>
石本理事	<p>性的マイノリティについて触れられているものには、東京書籍と学研みらいがあります。具体的には、東京書籍では、章末資料として、性の多様性を発展的に取り上げており、子どもたちの考えるきっかけにすることができるようになっております。学研みらいでは、当事者の方のメッセージを掲載することで、子どもたちの考えるきっかけになるとともに、LGBTやSOGIといった用語の説明もなされており、理解を深めることができるようになっております。</p>
谷野委員	<p>性的マイノリティの方への理解を深めることは、大切なことだと思いますので、東京書籍か学研みらいのどちらかの教科書が良いのではないのでしょうか。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p>
中村職務代理	<p>東京書籍と学研みらいを読み比べてみた時に、どちらも扱っている資料については、充実していると感じましたが、各章末で、子どもたちが自分たちで考えるような活動が、学研みらいにたくさん組まれているように思いました。子どもたちに、より自分の事として、健康課題などについて考えてほしいと思うので、学研みらいがより良いのではないのでしょうか。いかがでしょうか。</p>
新田委員	<p>私も、学研みらいが良いと思います。自分の事として考えることで、より理解が深まりそうですね。</p>

富本教育長	<p>ただ今、学研みらいを推す声がありますが、他にご意見はございませんか。</p> <p>ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。保健体育について、学研みらいを採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。保健体育につきましては、学研みらいを採択することに決定いたします。</p> <p>続きまして、技術について審議します。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>実践的・体験的な学習活動が重視されているか、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得について、生徒の発達段階に応じた内容になっているか、生徒の興味・関心・意欲が高められるよう完成の喜びを体得させるような学習活動について取り扱われているか等を、主な観点としております。</p> <p>なお、この観点は、次の家庭と同じ観点であることを申し添えます。</p>
富本教育長	<p>技術も家庭も同じ観点で調査・研究しているということです。</p> <p>それでは、技術には、3社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>各社の主な特徴について、ご説明いたします。</p> <p>東京書籍は、「活動」として、主体的に調べたり、友達と協働して検討したりするための発問を設けるなど、新学習指導要領でめざす深い学びの実現のための工夫がなされています。</p> <p>また、各節末に「自己評価」の欄を設け、主体的に学習に取り組めるように配慮されております。</p> <p>教育図書は、比較的大きな写真で、題材と基礎的な技能・知識を併せて読むことで、より体験的な学習を進めることが可能となっております。</p> <p>また、巻頭部分で「教科書の使い方」「安全に進めるために」「私たちの生活を支える技術」など、学習に必要なことがていねいに説明されております。</p>

	<p>開隆堂は、各内容が、「導入」→「基礎学習」→「展開」→「まとめ・評価」の順で構成されており、系統的に学習が進められるように工夫されております。</p> <p>また、各小項目の冒頭に設けられた導入課題の「考えてみよう」や「調べてみよう」を通して、生徒が授業に積極的に取り組むように配慮されております。</p>
富本教育長	<p>それではご意見、ご質問を承ります。</p>
井手委員	<p>どの教科書についてもイラストや写真等が大きく、非常に見やすい内容になっていたかと思います。また、安全面に対する内容も充実していたように思いました。学習を進めるうえで、ちがいはありますか。</p>
石本理事	<p>井手委員がおっしゃるように、どの教科書も非常に見やすい工夫がなされております。大きなちがいとしましては、教科書の冒頭から始まる安全面での留意事項や学習を始めるにあたってのガイダンスについて、使用しているページ数に差があります。東京書籍は18ページ、教育図書は8ページ、開隆堂は19ページとなっております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p>
中村職務代理	<p>今のご説明を伺いますと、東京書籍か開隆堂が、学習の仕方等についてよりていねいに扱っていると思います。興味をもって学習を進めることができると思います。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p>
新田委員	<p>私も、学習に興味を持つという点で、東京書籍か開隆堂が良いと思います。この2社を読み比べた時に、開隆堂の方が、環境との関わりをより多く取り扱っているように思いました。環境問題については、話題になることが多いので、子どもたちにもこの環境問題をしっかりと考えてもらえると良いと思います。</p>
安明委員	<p>たしかに、開隆堂の方が、環境問題と関連させている部分が多いようです。そう考えると、開隆堂が良いのではないのでしょうか。</p>

富本教育長	<p>ただ今、開隆堂を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。</p> <p>ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。技術について、開隆堂を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。技術につきましては、開隆堂を採択することに決定いたします。</p> <p>それでは家庭について審議いたします。</p> <p>観点は先程説明がありましたとおり、技術と同じですので、省略してよろしいですか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声）</p>
富本教育長	<p>それでは省略させていただきます。</p> <p>家庭につきましては、3社の教科書があります。各社の特徴について、説明願います。</p>
石本理事	<p>各社の主な特徴について、ご説明いたします。</p> <p>東京書籍は、日本や郷土に昔から伝わる料理や食材、衣服、住まいを写真で数多く取り上げ、それらに誇りや愛着を持ち、継承できるように工夫されております。</p> <p>また、巻末資料「深まる、広がる家庭分野の学習」には、技術分野や他教科、道徳とのつながりを学習内容別にマップで示し、学習の広がりを見ることができるよう工夫されております。</p> <p>教育図書は、実習事例や全都道府県の郷土料理の紹介など、豊富に写真やイラストを用いた説明がされており、見て理解しやすいように工夫されております。</p> <p>また、「私の成長と、家庭分野の学習」を設け、小学校の学習の振り返りと、これからの目標を考える工夫がなされております。</p> <p>開隆堂は、地域性を生かした食材や調理例（郷土食・行事食）が伝統文化と関連を図りながら取り上げられ、それぞれの地域での工夫がしやすいように取り扱われております。</p> <p>また、調理の手順等の写真が詳細かつ、わかりやすくていねいに表現され、細部については、拡大写真やイラストを添えるなどして適切な</p>

	配慮がなされております。
富本教育長	それではご意見、ご質問を承ります。
谷野委員	先ほどの技術と同じで、どの教科書も写真やイラストが非常に見やすいと感じました。また、どの教科書でも防災について書かれていましたが、ここ最近あった豪雨の被害のことや、大きな地震が近い将来起こりうるというようなことを考えても、非常に大切なことだと感じました。そう考えた時に、東京書籍や開隆堂は、教科書の最後の部分にまとめて取り扱いがあり、しっかりと考えるきっかけになりそうだと思います。
安明委員	たしかにそうですね。これから将来のことを考えたときに、しっかりと考えてほしい内容ですね。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
井手委員	中学生の間は、体も大きく成長するので、食生活についてもしっかりと考えてほしいと感じています。今あがっている東京書籍も開隆堂も、非常にていねいに、中学生に必要な栄養のことについて書かれていると思いますが、開隆堂の方が、イラストを交えた説明が多くて、よりわかりやすいように思いました。
中村職務代理	栄養以外にも、随所にイラストを交えた説明があり、具体的にイメージがわきやすい内容になっていますので、どちらかというとな開隆堂の方が良いと思います。
富本教育長	ただ今、開隆堂を推す声が出ていますが、他にご意見はございませんか。 ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りいたします。家庭について、開隆堂を採択することに、ご異議ございませんか。
	(「異議なし」の声)
富本教育長	異議なしと認めます。家庭につきましては、開隆堂を採択することに決定いたします。

	<p>続きまして、英語について審議いたします。選定資料における観点について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、国際協調の精神を養う内容となっているか、新出言語材料の分量や新出文法事項について学習がしやすい配慮がなされているか、「聞く」、「読む」、「話す（やりとり）」、「話す（発表）」、「書く」の4技能5領域に関する学習を効果的にバランスよく進めることができる組織・配列になっているか、ペアワーク、グループワークなどの多様な学習活動や方法を支援する具体的な工夫があるか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>英語につきましては、6社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>各社国際理解につながる内容について取り扱っておりますので、具体的にご説明いたします。</p> <p>東京書籍では、他国の食文化や習慣、世界遺産などを題材にして、国際理解を深める内容が盛り込まれております。</p> <p>開隆堂では、日本文化や他国の文化について幅広く知ることができるような内容が取り扱われております。</p> <p>三省堂では、インドやアメリカ・オーストラリアの学校生活、生活様式、文化などが取り上げられており、国際理解への配慮がなされております。</p> <p>教育出版では、他国の風習や標識、学校生活や行事について取り上げられており、多様な文化について学ぶことができるようになっております。</p> <p>光村図書では、「World Tour」で、世界の文化や遺跡について触れたり、各国の生活、行事について取り上げている内容があったりと、国際理解に関して取り扱っております。</p> <p>啓林館では、多様な人種、文化的背景をもった人物が登場し、他国の行事や文化について理解を深めることができようとなっております。</p>
富本教育長	<p>それではご意見、ご質問を承ります。</p>
新田委員	<p>先ほど、観点についてのご説明の中で、「話す」という部分が、「やり</p>

	とり」と「発表」と2種類ありましたが、この2つのちがいは、どのようなものなのでしょう。
石本理事	小学校では、今年度から始まっておりますが、中学校では来年度から新学習指導要領での授業を実施していくこととなります。英語では、前は「話すこと」として、1つの技能として取り扱っていましたが、今回の学習指導要領から、その中でも1人で教室の前に立つなどして、全体に対してプレゼンテーション等をする「発表」と、ペアでの活動やグループで、何か与えられたテーマについて話し合うなどの「やりとり」という2つの部分に、活動が明確に分けられるようになりました。
新田委員	ありがとうございます。「やりとり」と「発表」のちがいについて、よくわかりました。今後、国際化がどんどん進んでいくことを考えると、「やりとり」をしっかりと扱っている教科書の方が良さそうに思います。この部分では、各社の取り扱いの多さはいかがですか。
石本理事	新田委員のおっしゃったように、「やりとり」の技能については、選定委員会でも注目をしており、重要なポイントと考えております。こちらの取り扱いについては、東京書籍、開隆堂、光村図書、啓林館が数多く取り扱っております。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
安明委員	お話にあがっています「やりとり」という部分を考えると、先ほどの4社が良さそうだと思います。また、英語は外国語として勉強するので、音声としてしっかりと聞くことが必要だと思います。こうした「聞くこと」についての取り扱いでは、先ほどの4社はどのようになっていますか。
石本理事	安明委員のおっしゃる「聞くこと」については、言語を学習する中で最も基本的な部分となっております。この部分については、先ほどの4社の中では、開隆堂と光村図書で、特に取り扱い箇所が多くなっております。
中村職務代理	これまでの話を総合しますと、「聞くこと」の技能について充実して

石本理事	<p>いて、「話すこと(やりとり)」での取り扱い箇所が多いということで、開隆堂か光村図書が良いのではないかと思います。今年から小学校でも教科書を用いて英語の授業が始まっていますが、小学校の学習との関連という点では、この2社の取り扱いはどうなっているでしょうか。</p> <p>どちらも1年生の教科書で、小学校での学習との系統性を踏まえた内容となっております。</p> <p>開隆堂では、「Get Ready」という箇所を設け、小学校での既習事項である単語を復習することができるようになっております。他にも「PROGRAMO」でも小学校の復習ができるようになっております。</p> <p>光村図書では、「Word List」という単語を扱う箇所に、小学校での既習事項にマークがついており、わかりやすくなっております。また、「Let's Be Friends!」というページで、小学校の復習ができるようになっております。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p>
谷野委員	<p>どちらも1年生の段階で、小学校との関連について取り扱う箇所があるとのことでしたが、現在使っている小学校の教科書との関連ということを見ると、光村図書がより良いのではないのでしょうか。同じ教科書会社の方が、子どもたちも親しみをもって取り組めるように思います。</p>
井手委員	<p>私も光村図書が良いと思います。教科書としての分量も充実していて、子どもたちの学びにとっても、良いのではないのでしょうか。</p>
富本教育長	<p>光村図書を推す声が出ておりますが、他にご意見はございませんか。ご意見がないようですので、質疑を終結といたします。お諮りいたします。</p> <p>英語について、光村図書を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">(「異議なし」の声)</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。英語につきましては、光村図書を採択することに決定いたします。</p>

石本理事	<p>続きまして、道徳について審議いたします。選定資料における観点について、説明を求めます。</p> <p>自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深められるよう取り扱われているか、人権尊重の精神、生命に対する畏敬の念に基づき、生きることのすばらしさや生命の尊さについて考えを深められるよう取り扱われているか、発達の段階を考慮して、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等、生徒の関心を高め、道徳的実践を主体的に行う意欲と態度を育むよう配慮されているか等を、主な観点としております。</p>
富本教育長	<p>道徳につきましては、7社の教科書がありますが、各社の特徴について、説明を求めます。</p>
石本理事	<p>東京書籍では、話し合うためのマニュアルが用意され、各学年の巻頭折込みに、「道徳の時間はこんな時間に」というページが用意されているため、目的や流れ、自分の考えを深めていく授業の見通しが持ちやすい工夫がなされております。</p> <p>教育出版では、各学年、テーマを目次などで細分化し、生徒が認識しやすくなっており、教材の導入と学びの道しるべには、学習前後の考えや心の変容を生徒自身が実感できるよう工夫がなされております。</p> <p>光村図書では、各学年の6ページから9ページにかけて、「何を学ぶの」「どうやって学ぶの」の項目があり、生徒が目標達成のために何をするのか、方向性が示されており、自分との「対話」や他者との「対話」を通じ、学ぶための具体例が示されております。</p> <p>日本文教出版では、「自分に+（プラス）1」が設けられ、道徳的な判断力や実践意欲と態度の育成が図られるよう工夫がなされております。また、テーマ別に学習内容が分けられていることで、生徒が何を学んだのかが、わかりやすくなっております。</p> <p>学研みらいでは、自分に向き合っていくというテーマが設定され、2ページ、3ページに道徳で学ぶことと、考えを深める4つのステップ「見つけよう、考えよう、話し合おう、生き方につなげよう」を示し、生徒が見通しをもって授業を受けることができるようになっております。</p> <p>廣済堂あかつきでは、全ての教材に学習の発展的な広がりや深まり</p>

	<p>を促す「考えを広げる・深める」というコーナーが設けられております。また、「対話をすることでどのような効果があるのか」や「目標を達成するため」の具体的な説明があり、わかりやすくなっております。</p> <p>日本教科書では、各学年4ページ、5ページに、道徳の4つの観点と、それぞれの学び方について掲載し、生徒に内容項目の学び方がわかりやすくなっております。</p>
富本教育長	それではご意見、ご質問を承ります。
中村職務代理	先ほどのご説明をお伺いしますと、道徳の授業で、子どもたちがどのように学習を進めていくのかが、比較的わかりやすい形で書かれているものがあり、そうした教科書を使うことで、子どもたちがテーマについてしっかりと考えることができるのではないかと思いました。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
谷野委員	今回の道徳でも、すべての教科書で、いじめや情報モラルについて取り扱いがあったように思いますが、何か大きなちがいはありますか。
石本理事	いじめや情報モラルの取り扱いについては、どの教科書でも押さえるべきところは押さえられているという意見が、選定委員会からは出ております。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
安明委員	組織・配列という部分で、各社の特徴を教えてください。
石本理事	<p>東京書籍では、1学年で「郷土」、2学年で「国」、3学年で「国際理解」と、段階を経て考える範囲が広がるように工夫があり、また、「タマゴマン」というキャラクターが主人公の資料が、各学年に入っており、連続性の面での工夫があります。</p> <p>教育出版では、「生命の尊さ」を重点項目として、各学年に2から3教材、「社会参画・公共の精神」を扱う項目を各学年3教材掲載し、</p>

	<p>内容の系統性を持たせております。</p> <p>光村図書では、視点を変える「見方を変えて」が設けられており、各学年、目次の単元名の下に、「ユニットのテーマ」として、複数の単元で何について考えるかを示し、4観点をうまく配置しながら内容の連続性を持たせております。</p> <p>日本文教出版では、『いじめ』と向き合う」や「よりよい社会と私たち」といったテーマについて、まとめて学習できるよう教材が配置されており、それぞれの内容について、深く考えられるような工夫がなされております。</p> <p>学研みらいでは、各学年「ユニット学習」として、「地球と地域の未来のために」、「夢に向かってともに輝く」という2つのことを重点的に取り上げる形で配置しております。</p> <p>廣済堂あかつきでは、3学年かけて、自己の成長を目標とした配列となっており、全学年共通した登場人物を扱う教材を配置し、発達段階に応じて共感的に考えられる内容となっております。</p> <p>日本教科書では、学習指導要領に取り上げられている22の内容項目の順番を遵守して教材が配置されており、行事や生徒の活動との関連によっては、順番を入れ替える必要がございます。</p>
井手委員	<p>各社、重点を置く箇所や項目の並び順などはちがうものの、しっかりとした構成となっておりますね。ところで、道徳の時間では、ふりかえりをするのが、非常に大切だと思いますが、各社ふりかえりの扱いが異なっておりました。このあたり、まとめてご説明をお願いできますか。</p>
石本理事	<p>井手委員のおっしゃったように、道徳の時間では、ふり返りは非常に大切です。この点について、まとめますと、ふり返りのタイミングとしては、教材ごと、学期ごと、1年間の最後、の大きく3つに分かれます。まず、教材ごとのふり返りの機会が設けられているものですが、教育出版、光村図書、日本文教出版、廣済堂あかつきとなります。次に、学期ごとのみに、ふり返りの機会を設けているものが、東京書籍、学研みらいとなります。1年間の最後のみに、ふり返りの機会を設けているものが、日本教科書となります。</p>
富本教育長	<p>他にご意見、ご質問はございませんか。</p>

中村職務代理	ふり返りについては、教材ごとにしっかりと行ってほしいと思います。そう考えると、教育出版、光村図書、日本文教出版、廣済堂あかつきのいずれかが良いのではないかと思います。
安明委員	その4社を見比べてみますと、日本文教出版は、授業の中で考えを書き込む部分が多いですが、1時間のふり返りという面では、学習内容が印象に残ったかなどについて、5段階で評価するような形になっていますよね。1時間ごとのふり返りを文章で書く形になっているのが、教育出版、光村図書、廣済堂あかつきの3社ですが、教育出版は、短文を書くスペースしかなく、ふり返りを書くためのスペースを考えると、光村図書と廣済堂あかつきが充実しているように思います。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
谷野委員	光村図書では、「広げよう」という教材と教材の間にあるコラムのようなコーナーで、実生活に結びつきそうな題材、が多く扱われているように感じました。一方、廣済堂あかつきでは、「thinking」という同じくコラムのようなコーナーで、詩や作文などが掲載されており、考えさせられるような内容になっていると感じました。
新田委員	今、谷野委員のおっしゃったように、光村図書の「広げよう」は、読むことで、子どもたちが、実生活でのふるまい方を考えることができそうです。廣済堂あかつきの「thinking」では、深く自分の心と向き合うことができそうです。
富本教育長	他にご意見、ご質問はございませんか。
中村職務代理	これまでの内容を総合しますと、光村図書、廣済堂あかつきの2社のうちどちらかが、本町の子どもたちにとっては、良さそうですね。
安明委員	両社を見比べた時に、あらためて、ふり返りを書くスペースに注目してみたのですが、光村図書では、1年の最後に保護者や先生が書くことのできる箇所があって、特徴的だと思いました。
井手委員	たしかに、この箇所をうまく使って、保護者や先生からメッセージを

新田委員	<p>もらえると、子どもたちも嬉しいと思います。</p> <p>これまでの部分を総合すると、光村図書がより良いのではないのでしょうか。</p>
谷野委員	<p>私も光村図書が良いと思います。先ほどの新田委員のご意見に併せて、現在使用していることもあり、2年間の実績を踏まえ、より研究を深めていただきたいと思いますので、光村図書が良いのではないのでしょうか。</p>
富本教育長	<p>光村図書を推す声がありますが、他にご意見はございませんか。ご意見がないようですので、質疑を終結します。お諮りします。道徳について、光村図書を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。道徳につきましては、光村図書を採択することに決定いたします。</p> <p>以上で、令和3年度中学校使用教科用図書について、全種目採択が終わりましたので、採択結果について、確認をいたします。申し上げます。</p> <p>国語 光村図書、書写 教育出版、地理 帝国書院、歴史 東京書籍、公民 東京書籍、地図 帝国書院、数学 日本文教出版、理科 啓林館、音楽（一般） 教育芸術社、音楽（器楽） 教育芸術社、美術 日本文教出版、保健体育 学研みらい、技術 開隆堂、家庭 開隆堂、英語 光村図書、道徳 光村図書、以上でございます。</p> <p>お諮りいたします。令和3年度使用中学校教科用図書について、以上の教科書を採択することに、ご異議ございませんか。</p> <p style="text-align: center;">（「異議なし」の声）</p>
富本教育長	<p>異議なしと認めます。</p>
富本教育長	<p>次に、日程第2・議案第17号「令和3年度使用小学校教科用図書の採択について」を議題と致します。事務局より議案の朗読を願います。</p>

石栗課長	(議案朗読)
富本教育長	会議規則第9条の規定により趣旨説明を求めます。
石本理事	令和3年度使用小学校教科用図書の採択に関して、でございますが、本年度は採択替えの年では、ございません。「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」と、これを受けての「同施行令」にもとづき、令和3年度も、令和2年度と、同一の教科用図書を採択いただくものとなっております。
富本教育長	説明は以上のとおりです。説明に基づきまして、令和3年度使用小学校教科用図書採択については、現在使用している教科書と同一のものを採択するということにご異議ございませんか。
	(「異議なし。」の声)
富本教育長	ご異議がございませんので、令和3年度使用小学校教科用図書につきましては、今年度と、同一の教科用図書を引き続き採択することに決めます。
富本教育長	以上で、すべての議事が終了いたしました。これにより、令和2年第1回忠岡町教育委員会臨時会を終了とさせていただきます。長時間にわたる、慎重なご審議、どうもありがとうございました。